

公共応急作業車解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産T33型エクストレイルを種車とした公共応急作業車を、解体する場合の手順、及びその留意事項を記載したものです。

種車及び搭載機器の構造、その解体要領 については、それぞれの製造メーカーにお問合せ下さい。

目次

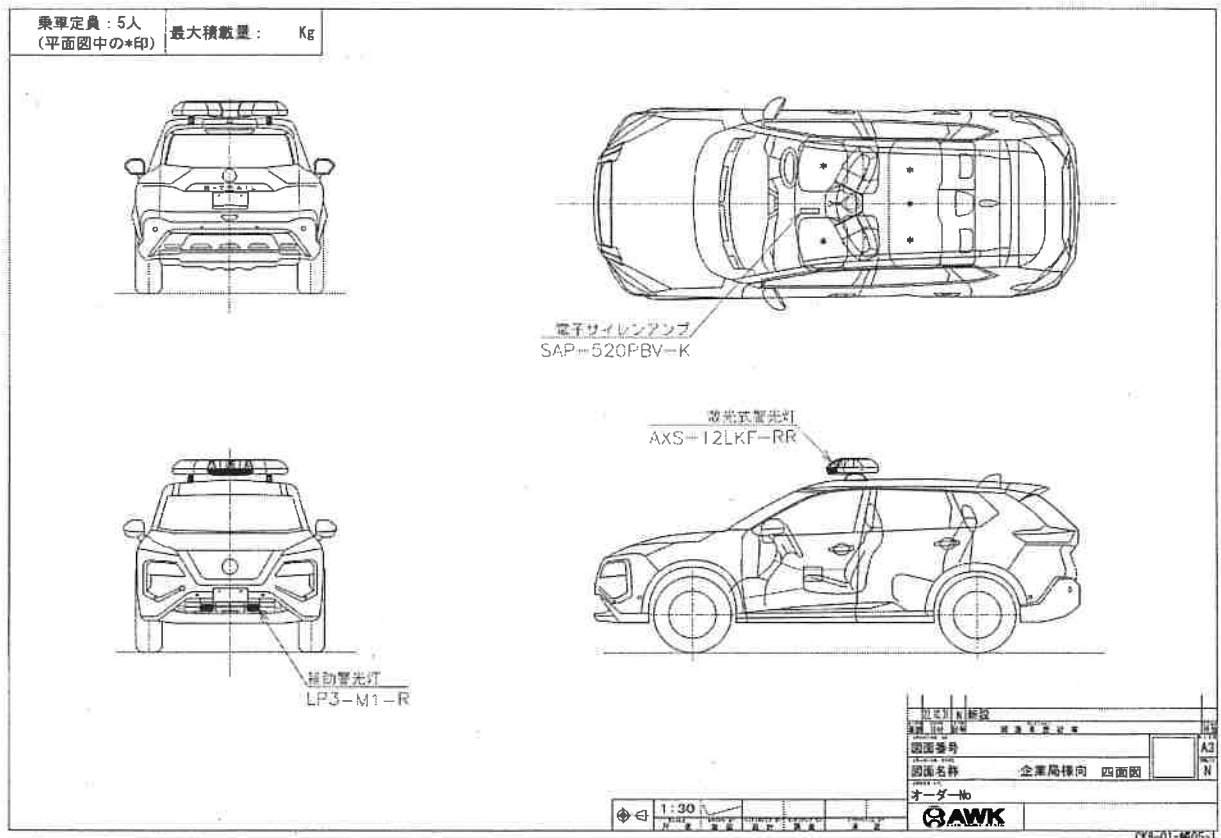
1. 構造概要	P 2
2. 解体時の留意事項	P 3
3. 解体手順	P 4 ~ 16
お問い合わせ先	P 17



新規発行	23-03-16	N	2012	井上	勝西
変更内容	発行日	NO	部長	課長	担当

1. 構造概要

本車両は日産T33型エクストレイルを種車とした公共応急作業車に架装したもので、その構造は、大きく分け
・散光式警光灯・サイレンアンプ等・補助警光灯 で構成されています。



1) 散光式警光灯

- 車内の天井部に取付用ブラケットをビスで固定
- ルーフに穴を開けそこに外側からボルトを入れ内側からナットで固定

2) サイレンアンプ

- 車内フロントセントアレイ(コンソールフィニッシャ)にブラケットとカバーにて固定

3) 補助警光灯

- フロントグリル部に取付用ブラケットをビスで固定
- 取付用ブラケットにあいている穴に補助警光灯を固定

2. 解体時の留意事項

- 1) 架装した部品類の主な材料は、以下の通りです。
分別等の際し、適切な処置をして下さい。

主 な 装 備	架 装 部 位	主 な 材 料
	散光式警光灯	プラスチック、鋼材等
	サイレンアンプ	プラスチック、鋼材等
	補助警光灯	プラスチック、鋼材等

- 3) 解体時に発生したスクラップ類は、適切な分別、廃棄処置をして下さい。

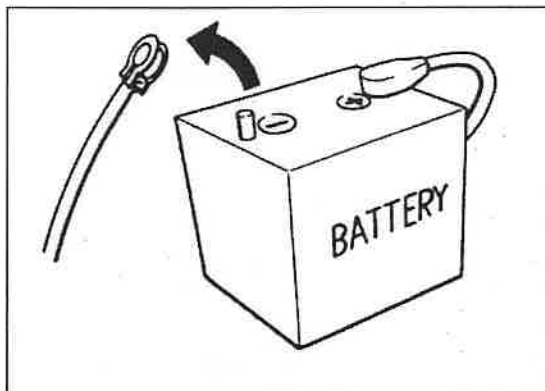
3. 解体手順 1) バッテリー端子一時取り外し

バッテリー端子取り外し時の注意：作業上の注意

e-POWER車

RDE-001507596

- 本車両にはオートACC機能が採用されているため、インテリジェントキー又はリモコンドアロックの操作や運転席ドアの開閉によりアクセサリ電源が自動的に供給される。また、パワースイッチをOFF位置にしてもアクセサリ電源はOFFにならず一定時間供給され続ける。
- 12Vバッテリーの端子を取り外すときは、下記の「12Vバッテリー端子取り外し手順」に従い、アクセサリ電源をOFFにしてからバッテリー端子を取り外すこと。



RDE-000781440-01-EF289H



参考:

パワースイッチOFF後、イグニッション電源がOFFになっても一定時間作動しているECUがある。ECUが停止する前にバッテリー端子を取り外すとDTCの誤検出やECU内のデータを破損させるおそれがある。

- 2バッテリーシステム車は、パワースイッチをONにする際、必ずメインバッテリー及びサブバッテリーが接続された状態で行うこと。



参考:

メインバッテリー又はサブバッテリーのいずれかの端子が外れている状態でパワースイッチをONにするとDTCを検出することがある。

- 12Vバッテリーを取り付けた後は、必ず全ECUの自己診断を確認し、DTCを消去すること。



参考:

12Vバッテリーの取り外しによりDTCを誤検出することがある。

12Vバッテリー端子取り外し手順

下記の手順に従い、12Vバッテリーの端子を取り外す。

- フードを開ける。
- パワースイッチをON位置にする。
- 運転席ドアを開けた状態でパワースイッチをOFF位置にする。
- 車外に出て運転席ドアを閉める。

1) バッテリー端子一時取り外し

5. 3分以上待機する。

注意:

オートACC機能によりアクセサリ電源がONとなるため、待機中はドアロックの操作やドアの開閉などの車両操作を行わないこと。

6. 12Vバッテリー端子を取り外す。

注意:

12Vバッテリーを取り付けた後は、必ず全ECUの自己診断を確認し、DTCを消去すること。

2) 散光式警光灯取り外し

① ヘッドライニング一時取り外し

ヘッドライニング: 取り外し、取り付け

サンルーフ無車

RPR-001987839

取り外し

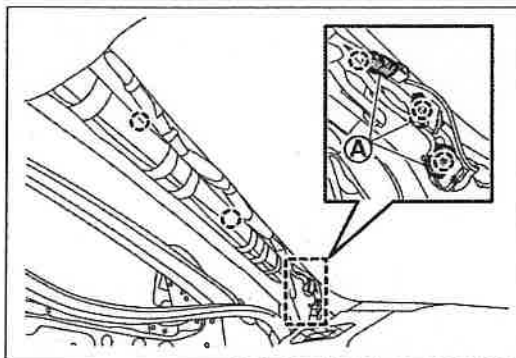
注意:

各部品に傷を付けないようにすること。

1 左右フロントビラーガーニッシュを取り外す。 フロントビラーガーニッシュ: 取り外し、取り付けを参照する。

2 左フロントビラー部の下記の部品を外す。

- ・ ハーネスコネクタ(A)
- ・ 樹脂クリップ



RPR-001987839-06-000309508



樹脂クリップ

3 左右センタビラーアッパガーニッシュを取り外す。 センタビラーアッパガーニッシュ: 取り外し、取り付けを参照する。

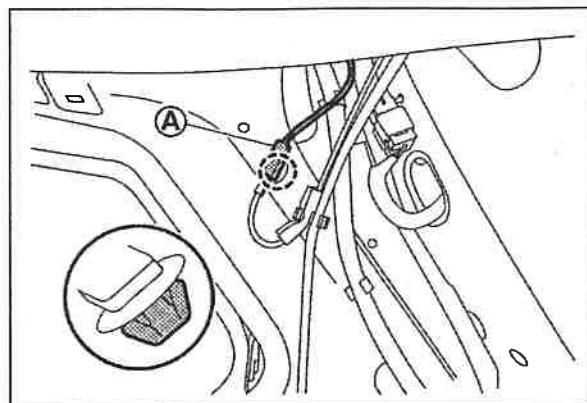
4 左右ラゲッジサイドアッパフィニッシュを取り外す。 ラゲッジサイドアッパフィニッシュ: 取り外し、取り付けを参照する。

5 右リヤビラー部の下記の部品を外す。(インテリジェントルームミラー付車)

- ・ ハーネスコネクタ(A)
- ・ ハーネスクリップ

2) 散光式警光灯取り外し

① ヘッドライニング一時取り外し



RPR-001987839-14-000416802

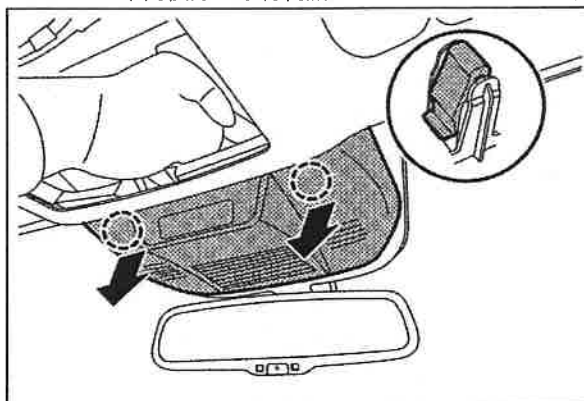


: 樹脂クリップ

6 マップランプASSYを取り外す。 マップランプ: 取り外し、取り付けを参照する。

7 フロントカメラユニットカバーを取り外す。

a フロントカメラユニットカバーの車両後方の取付樹脂クリップのかん合を矢印の方向に外す。

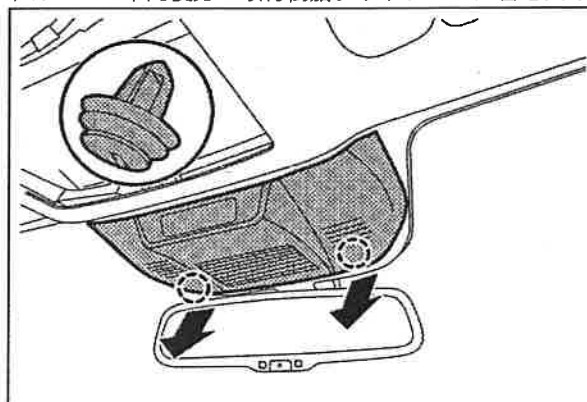


RPR-001987839-01-000309509



: 樹脂クリップ

b フロントカメラユニットカバーの車両後方の取付樹脂クリップのかん合を矢印の方向に外す。



RPR-001987839-08-000309510



: 樹脂クリップ

2) 散光式警光灯取り外し

① ヘッドライニング一時取り外し

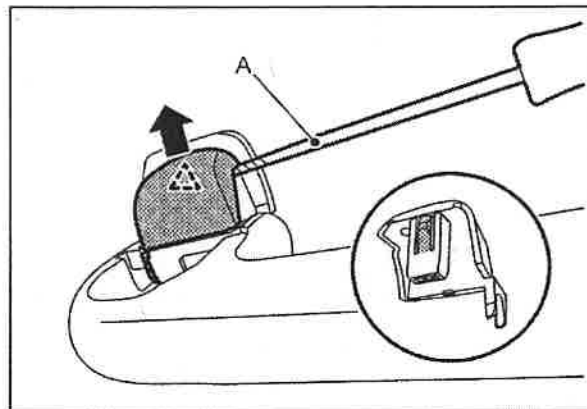
c テザーの接続を外し、フロントカメラユニットカバーを取り外す。

8 下記のハーネスコネクタの接続を外す。

- ・ フロントカメラユニット (フロントカメラ付車)
- ・ インテリジェントルームミラー (インテリジェントルームミラー付車)

9 全てのアシストグリップを取り外す。

a リムーバツール (A) を使用して、アシストグリップキャップ取付樹脂爪のかん合を外し、アシストグリップキャップを外す。



RPR-001987839-16-000322351

	: 樹脂爪
--	-------

注意:

傷付き防止のため、リムーバツール先端部には保護テープを巻くこと。

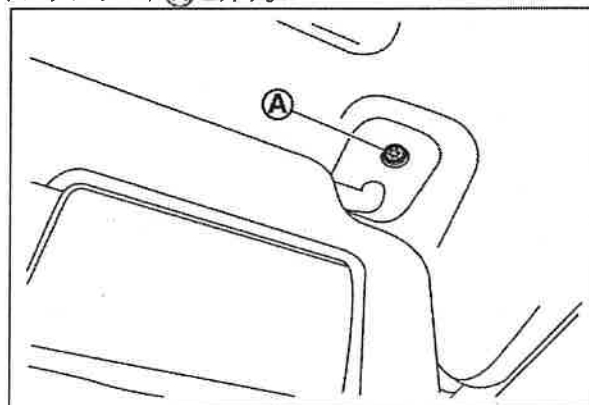
b アシストグリップを手前に引き抜き取り外す。

注意:

アシストグリップ取付メタルクリップは、取付穴に残るので必ず外すこと。

10 左右サンバイザASSYを取り外す。

a サンバイザASSY取付トルクスボルト(A)を外す。

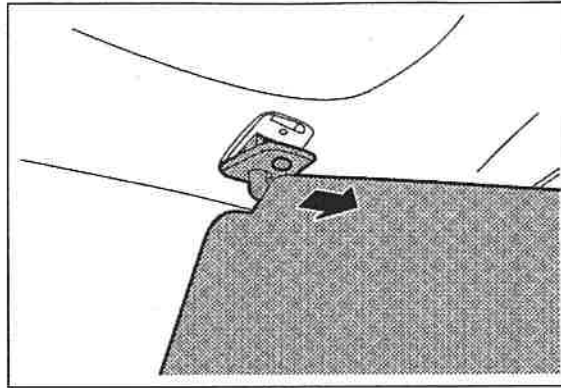


RPR-001987839-02-000416803

b サンバイザASSYを矢印の方向に引き出す。

2) 散光式警光灯取り外し

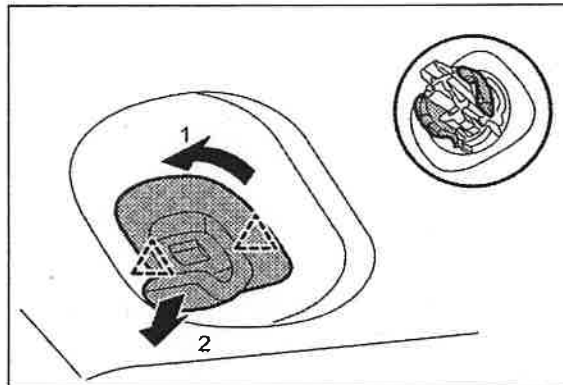
① ヘッドライニング一時取り外し



RPR-001987839-13-000416934

c ハーネスコネクタの接続を外し、サンバイザASSYを取り外す。

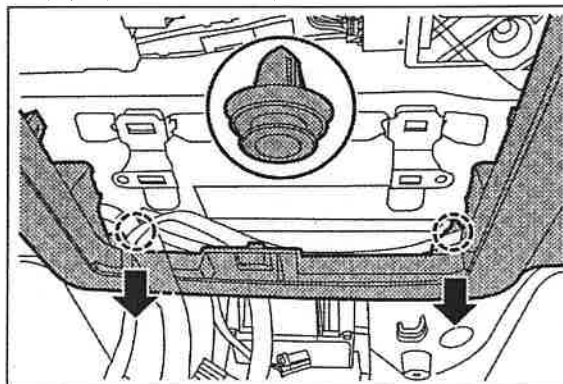
11 左右サンバイザホルダを、図の矢印1→2の手順で90°回転させた後、車両下方向にサンバイザホルダを取り外す。



RPR-001987839-04-000368478

	: 樹脂爪
---	-------

12 ヘッドライニング前方の取付樹脂クリップのかん合を外す。



RPR-001987839-09-000340530

注意:

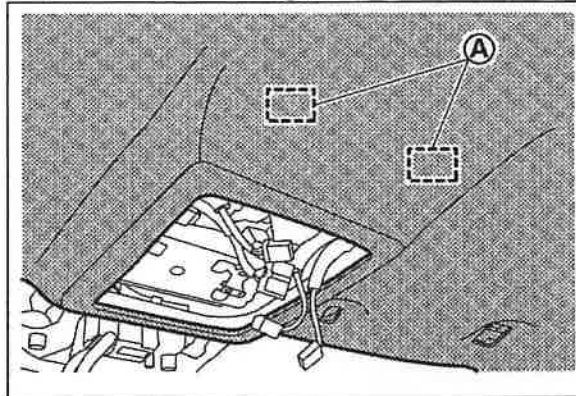
- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、作業は必ず複数人で行うこと。
- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、デュアルロックファスナのかん合を外すときは、ヘッドライニングASSYの基材を引っ張らないこと。

2) 散光式警光灯取り外し

① ヘッドライニング時取り外し

	樹脂クリップ
---	--------

13 ヘッドライニング前方のデュアルロックファスナ(A)のかん合を外す。

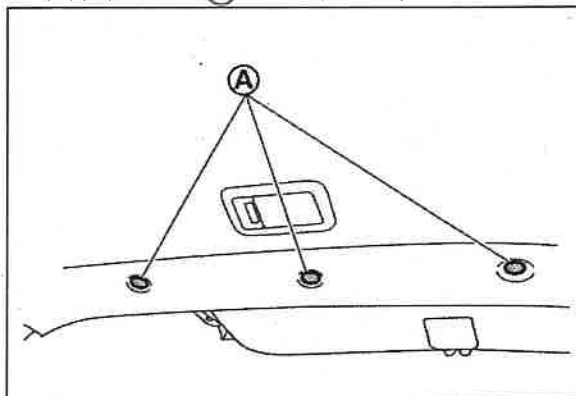


RPR-001987839-10-000340531

注意:

- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、作業は必ず複数人で行うこと。
- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、デュアルロックファスナのかん合を外すときは、ヘッドライニングASSYの基材を引っ張らないこと。

14 ヘッドライニング後方の取付樹脂クリップ(A)のかん合を外す。



RPR-001987839-03-000309515

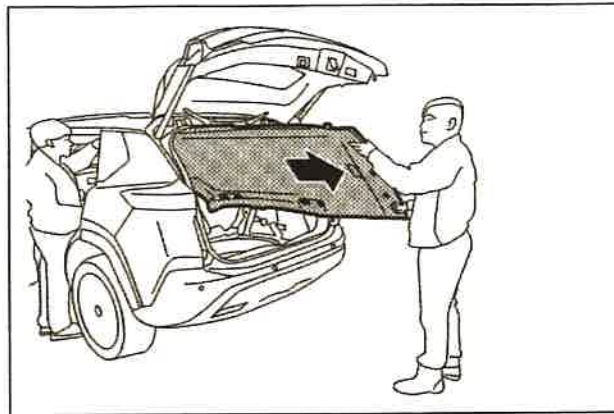
注意:

- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、作業は必ず複数人で行うこと。
- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、クリップのかん合を外すときは、ヘッドライニングASSYの基材を引っ張らないこと。

15 ヘッドライニングASSYを左右どちらかに傾け、車両後方開口部よりヘッドライニングASSYを取り出す。

2) 散光式警光灯取り外し

①ヘッドライニング時取り外し



RPR-001987839-05-000309518

注意:

- 周囲の部品等に、干渉させないように作業を行うこと。
- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、作業は必ず複数人で行うこと。
- シワ及び折れの原因となるので、ヘッドライニングASSYを強く曲げないこと。

16 必要に応じて、アシストグリップブラケット取付ボルトを外し、アシストグリップブラケットを取り外す。

2) 散光式警光灯取り外し

②散光式警光灯取り外し

a: ルーフに固定されているボルトをはずし、散光式警光灯を取り外す。

図3-1



①ボルトをはずす
2箇所
(対面側も同様)

図3-1

2) 散光式警光灯取り外し

② 散光式警光灯取り外し

b: 車内の天井部に取付た散光式警光灯用BRKTをはずす。

図3-2

図3-3

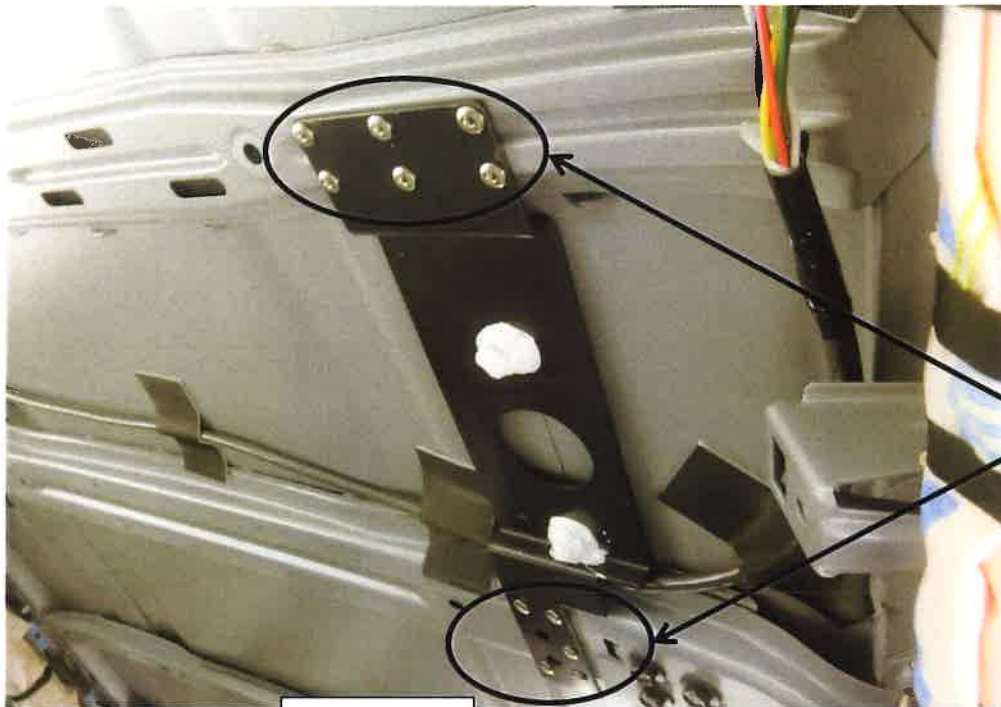


図3-2

② リベットをはずす
8箇所
(対面側も同様)



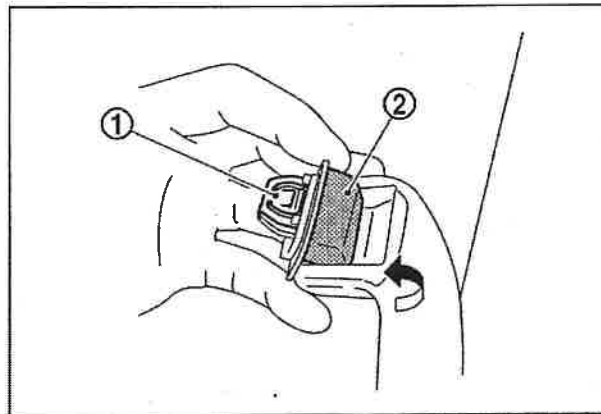
図3-3

取り付け

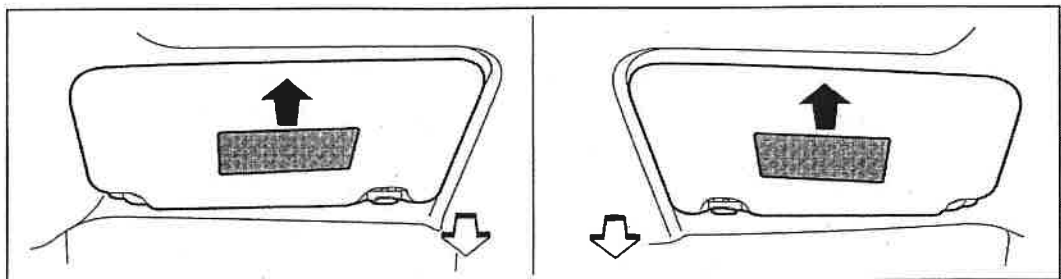
取り付けは下記に注意し、取り外しの逆の手順で行う。

注意:

- ヘッドライニングASSYの損傷防止のため、作業は必ず複数人で行うこと。
- 位置決めのため、左右サンバイザホルダとヘッドライニングASSY後端のヘッドライニング取付樹脂クリップを、最初に取り付けること。
- シワ及び折れの原因となるので、ヘッドライニングASSYを強く曲げないこと。
- 周囲の部品等に、干渉させないように作業を行うこと。
- アシストグリップ取り付けの際は、メタルクリップ①及びアシストグリップキャップ②をあらかじめ先にアシストグリップに取付後、アシストグリップを取付穴に押し込むこと。



- サンバイザ取付後、サンバイザ格納時にコーションラベルが図の向きになっていることを確認すること。



RPR-001987839-11-000338954

	: コーションラベル上方
	: 車両前方

3) サイレンアンブ取り外し

① サイレンアンブ取り外し

a: 車内フロントセントラートレイ(コンソールフィニッシャ)に取付たサイレンアンブをカバー、ブラケットとともにはずす。



図3-4

図3-5



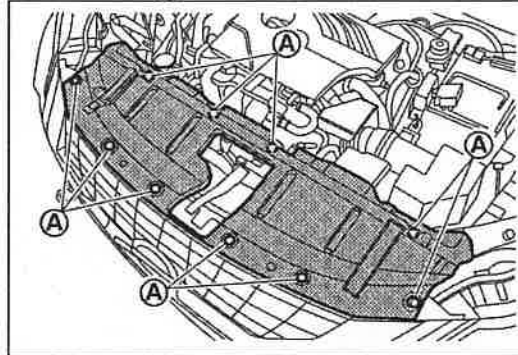
図3-5

3)補助警光灯取り外し ① フロントグリルー時取り外し
フロントグリル：取り外し、取り付け

RPR-001992340

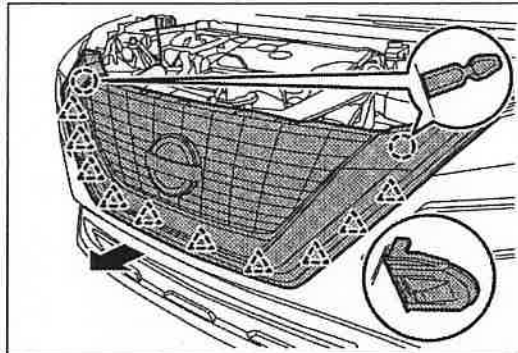
取り外し

- 1 フードを全開にする。
- 2 ライセンスプレートブラケット取付スクリュを外し、ライセンスプレートブラケットを取り外す。
- 3 フロントグリルカバー取付樹脂クリップ(A)を外し、フロントグリルカバーを取り外す。



RPR-001992340-01-000313411

- 4 フロントグリル取付樹脂クリップ及び樹脂爪のかん合を外し、フロントグリルを車両前方に引く。



RPR-001992340-02-000313412

	樹脂クリップ
	樹脂爪

- 5 フロントカメラハーネスコネクタの接続を外す。(フロントカメラ付車)
- 6 フロントグリルを取り外す。
- 7 フロントグリルを取り外した後、下記の部品を取り外す。
 - ・ フロントカメラ (フロントカメラ付車) フロントカメラ：取り外し、取り付けを参照する。
 - ・ フロントエンブレム

取り付け

取り付けは下記に注意し、取り外しの逆の手順で行う。

注意:
 フロントグリル取り付けの際は、必ずフロントカメラのキャリブレーションを行うこと。作業手順を参照する。

← P16

3) 補助警光灯取り外し

② 補助警光灯取り外し

a: 車体フロントグリルに取付た補助警光灯をブラケットとともに取外してください。

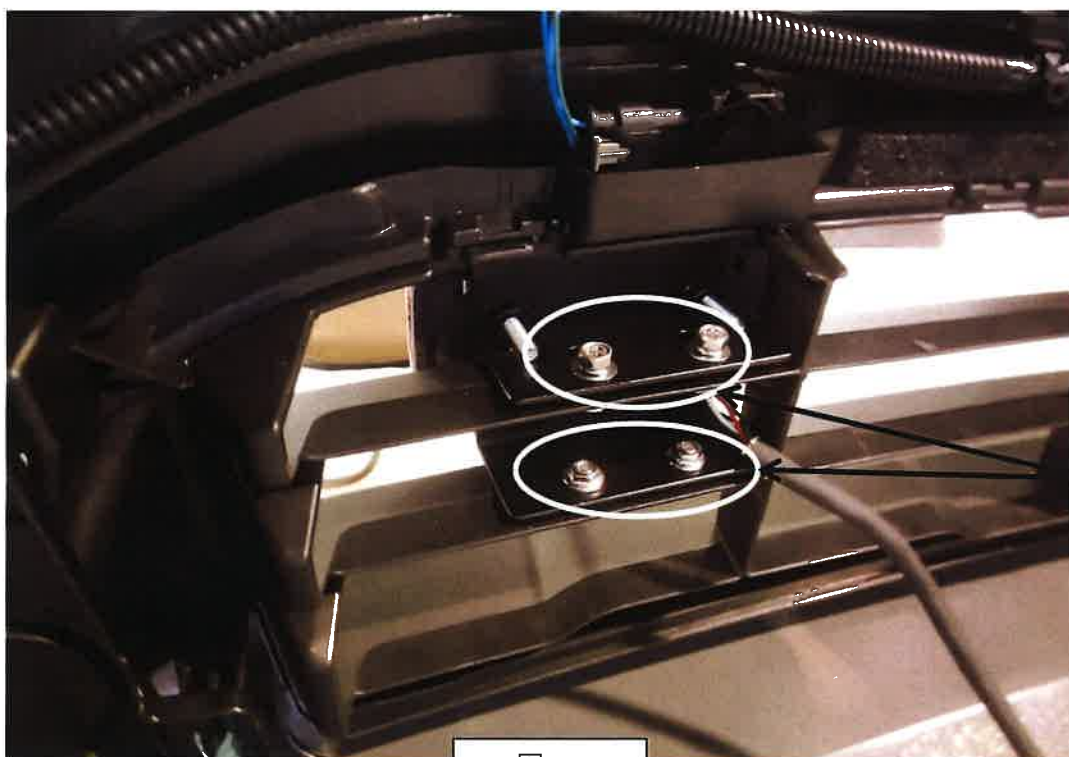


図3-4

図3-5

補助警光灯をブラケットごと取外す。

図3-4



ネジをはずす
4箇所
補助警光灯を
ブラケットごと
取外す。

図3-5

作業手順

プロパイロットパーキング無車

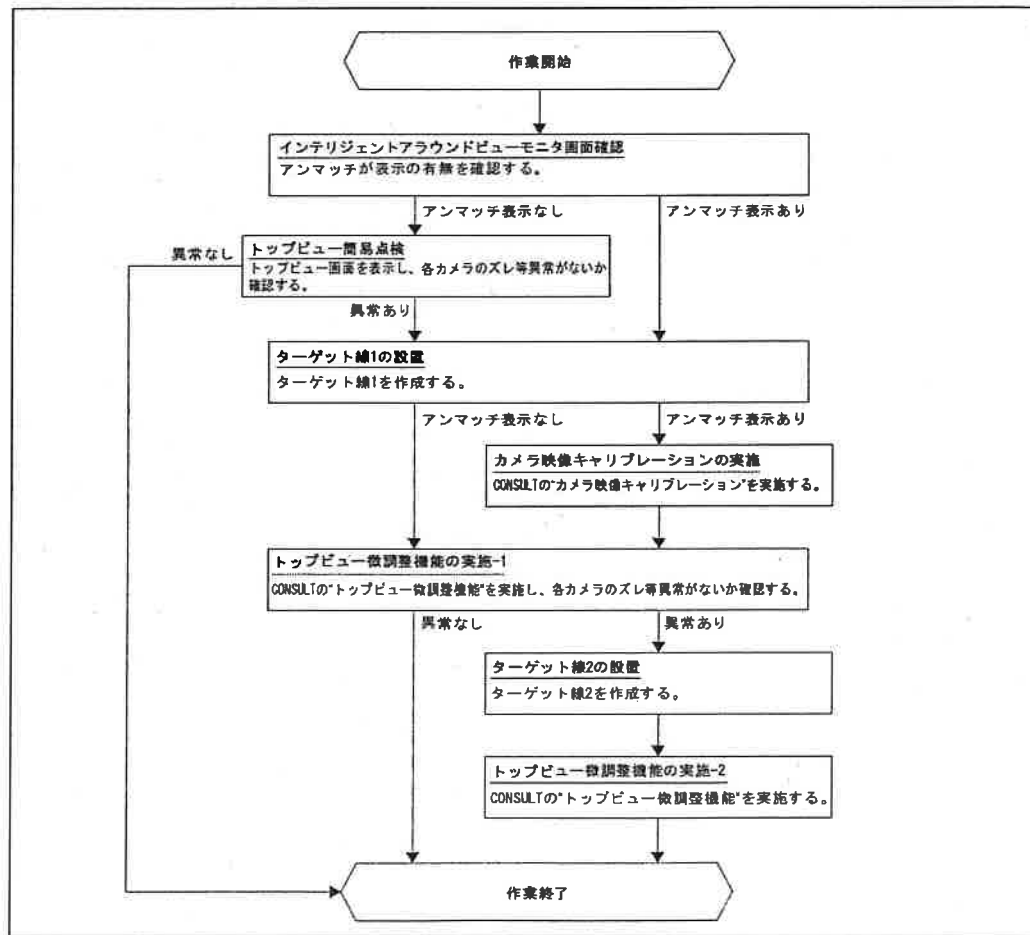
SIEMD-16557853688181

- 各カメラの取り外し、及び交換、カメラ取付部位（フロントグリル、ドアミラーなど）の取り外し、アラウンドビューモニターC/Uを交換した場合は、カメラキャリブレーションを実施し、アラウンドビューモニターC/Uへ書き込みを行う。

○：適用

部品名	作業内容		付帯作業
	交換	取り外し	
フロントカメラ	○	○	カメラキャリブレーション
フロントバンパモールセンタ	○	○	
サイドカメラ	○	○	
ドアミラーASSY	○	○	
リヤカメラ	○	○	
バックドアASSY	○	○	

- 本カメラキャリブレーションによって、車両近傍の路面上の白線を、カメラのつなぎ目でつながるように合わせる。車両から離れたところの白線はカメラのつなぎ目でつながらない場合があり、遠方ではズレが大きくなる傾向にある。
- 図のフローチャートに従いカメラキャリブレーションを実施する。



お問い合わせ先

株式会社 オートワークス京都
営業・開発部 開発グループ

〒 611-0033

京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1

TEL : 0774-46-7072